

社会科 実態調査の実施にあたって

I 実施方法

1. それぞれ生徒の段階を、「社会参加ときまり」、「公共施設と制度」、「地域の安全（我が国の国土の自然環境と国民生活）」、「産業と生活」、「我が国の地理や歴史（我が国の国土の様子と国民生活、歴史）」、「外国の様子」の6つの区分に沿って観点別に把握する。
2. それぞれの段階の指導事項の調査項目にしたがい、○や△を記入する。
（○は調査項目を達成しており、いつでも、一人でもできるものにつける。
△は教師の支援によってできるや、条件つきでできるなどにつける）
3. △をつけた場合には、どんな条件だとできるのかを端的に記入する。
4. △や無印の部分については、今後指導計画に反映することを検討する。

II 留意点

社会科 実態調査表を使用するにあたり、以下の点に留意する。

○調査項目について

【知識及び技能】については、一つの指導事項に対して、取り扱う内容が複数種類に及ぶため、分けて記述しているが、その内容同士が互いに関係し合っているため授業の中では、合わせて学習するとよい。

【思考力、判断力、表現力等】については、主に知識及び技能の指導事項を調べる中で考えたり、表現したりする姿について判定する。よって授業中の姿やプリントなどの成果物から、本人の思考している姿を見取っていく必要がある。

○調査に際しては、各教科等を合わせた指導での指導場面だけでなく、生活場面での様子から判断できるようにする。

※今後、より具体的な子どもの姿として表すことができるように調査項目を改定していく。

ア 社会参加ときまり

段階	知識及び技能		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
中1段階	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分とのかかわりや関係性を理解し、そのための知識や技能を身に付けること。	(ア) ⑦	係や当番の仕事などを行うために、自分の考えをもつことができる。	
			係や当番の仕事などを行うために、相手の立場を考慮することができる。	
			係や当番の仕事などを行うために、相手の助言を聞くことができる。	
中2段階	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分とのかかわりや関係性を理解し、そのための知識や技能を身に付けること。	(イ) ⑦	靴をそろえる、時間割に沿って行動するなどの学校でのきまりを知ることができる。	
			信号に従って道路を横断するなどの通学路でのきまりを知ることができる。	
			上記のきまりと自分の生活や経験を関連付けてきまりを守る良さが分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
中1段階	社会的な事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。	(ア) ④	学級や学校などで集団の目的や友だちの様子から必要な行動を考えている。	
			上記の考えを他者に提案したり、行動で表したりしている。	
中2段階	社会的な事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。	(イ) ④	自分の身の回りがあるきまりを守ることで円滑な社会生活を送ることができると考えている。	
			社会生活ときまりとの関連を考え、表現すること。	

活動例
きまりを実生活と関連させて必要性を考える活動。 通学路にある標識についてなぜ標識があるか調べたり、話し合ったりするなど意味を考える活動。

段階	知識及び技能		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
中2段階	自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調べまめめる技能を身に付けること。	(ア) ⑦	状況に応じて、他者と協力することで解決できることがあることが分かる。	
			状況や目的に合わせて友達に意見を伝えたり、意見を聞いたりすることができる。	
			係や当番の仕事のために友達と協力することができる。	
中3段階	自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調べまめめる技能を身に付けること。	(イ) ⑦	スーパーマーケットのレジで順番に並ぶなどの社会参加に必要なルールが分かる。	
			運転免許や道路標識など、道路交通法についての基本的なことが分かる。	
			結婚に関する民法など社会参加に必要な基本的な法が分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
中2段階	社会的な事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。	(ア) ④	困っている人がいたら声を掛けるなど自分にて適切な行動を考えている。	
			分からないことがあったら自分から人に尋ねたり教えてもらったりして適切な行動を考え、実行している。	
中3段階	社会的な事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。	(イ) ④	自分が担当したり、行ったりした役割について責任をもっている。	
			責任を持って役割に組み込むことは集団生活や社会参加につながることを考えている。	
中4段階	社会的な事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。	(イ) ④	きまりがなぜ必要かやきまりを守ることは円滑な社会生活を営むことどう関係するかを考えている。	
			社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現すること。	

活動例
自分の生活におけるきまりを確認し、その必要性について話し合う学習活動

段階	知識及び技能		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
高1段階	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまめめる技能を身に付けること。	(ア) ⑦	地域での活動の際に、周囲のことを考えて行動する大切さが分かる。	
			地域での活動の際に、周囲と役割などを調整する大切さが分かる。	
			自分の役割や責任を果たすために周囲の人々との協力が必要不可欠であることが分かる。	
高2段階	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまめめる技能を身に付けること。	(イ) ⑦	自分たちの社会生活と日本国憲法、法律や条例との関連が分かる。	
			社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること。	

段階	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
高1段階	社会的な事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(ア) ④	社会生活の中で自分は社会の一員であることを認識している。	
			自分がなすべき役割とその行動が及ぼす影響について積極的に考えている。	
高2段階	社会的な事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(イ) ④	社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。	
			社会生活に必要な法について、法を守らないことが社会の秩序を乱すことにつながることを自分の生活に基づいて考えている。	

活動例
地域の清掃やボランティアに参加する活動

段階	知識及び技能		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
高2段階	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまめめる技能を身に付けること。	(ア) ⑦	学校や地域社会の中で自分の立場や役割と相手の立場や役割を理解して行動することができる。	
			集団の中での自分の役割の重要性を認識し、協力することのよさや意義が分かる。	
			自動車を運転するためには自動車運転免許が必要であることが分かる。	
高3段階	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまめめる技能を身に付けること。	(イ) ⑦	資格が必要な職業があることが分かる。	
			社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解すること。	
			18歳以上の国民には選挙権が与えられることが分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
高2段階	社会的な事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(ア) ④	日本国憲法や法により権利が保障され、義務が課せられること、その結果が身近な生活にも影響を与えることを考えている。	
			選挙で代表を選ぶ権利を行使することにより、選挙で選ばれた代表が決めたきまりに従うことが求められ、それが自分の生活の安定や向上にかかわることを考えている。	
高3段階	社会的な事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(イ) ④	日本国憲法と自分たちの生活とのかかわりを調べ、国民生活に果たす役割を考えている。	
			日本国憲法が自分たちの生活とどのように関係しているかを考え、表している。	

活動例
模擬選挙や生徒会選挙などの活動 国民の権利と義務に関する学習活動 日本国憲法が国民生活にどう生かされているかを具体的に調べる活動 「自分が住みたいところに住む」や「自由な職業を選ぶ」ということを調べて、自分の意見を交えて発表する学習活動

イ 公共施設と制度

段階	知識及び技能		判定
	段階の目標	調査項目	
中1段階	(ア) ⑦	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分と関わりが分かるとともに調べまとめる技能を身に付けるようにする。	市役所や町役場、学校、図書館、美術館、消防署、交番などの多くの市民が利用したり、市民のために活用している施設が分かる。
		身近な公共施設や公共物の役割が分かること。	学校の備品などの役割が分かる。
		電車やバスなどの公共交通機関の役割について理解することができる。	
		新聞やテレビ、インターネットなどの役割が分かる。	
(イ) ⑦	身近な生活に関する制度が分かること。	療育手帳を使って福祉サービスや割引を受けられることが分かる。	
		保険証を使うことで医療費負担が減ることが分かる。	

段階	知識及び技能		判定
	段階の目標	調査項目	
中2段階	(ア) ⑦	自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人の暮らしや生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする。	公共施設や公共物を活用し、自分たちの生活にとって役立っていることを理解することができる。
		自分の生活の中での公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること。	ICカードや電子マネーを使って、買い物や交通機関の利用ができることが分かる。
		租税の制度が社会生活を円滑に送るために必要だということ(消費税の支払いや消費税の使い途について)が分かる。	
		選挙は物事を決めるときの一つの方法であることが分かる。	
(イ) ⑦	社会に関する基本的な制度について理解すること。	選挙の制度が社会生活を円滑に送るために必要だということ(消費税の支払いや消費税の使い途について)が分かる。	
		選挙は物事を決めるときの一つの方法であることが分かる。	
		社会保障の制度が社会生活を円滑に送るために必要だということ(消費税の支払いや消費税の使い途について)が分かる。	

段階	知識及び技能		判定
	段階の目標	調査項目	
高1段階	(ア) ⑦	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	公共職業安定所では、求職登録や職業相談などを受けられることを知り、必要に応じて利用してよいことが分かる。
		生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること。	市役所では住民票の取得や福祉サービスの利用申請、年金の申請を行えるなど、公共施設や公共物の役割や機能が分かる。
		我が国には、国会に立法、内閣に行政、裁判所に司法という三権があることが分かる。	
		三権が相互に関連してそれぞれの役割を果たしていることなど基本的な政治の仕組みが分かる。	
(イ) ⑦	我が国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解すること。	我が国には、国会に立法、内閣に行政、裁判所に司法という三権があることが分かる。	
		三権が相互に関連してそれぞれの役割を果たしていることなど基本的な政治の仕組みが分かる。	
		国や地方公共団体の政治は国民生活と密接な関係をもっていることが分かる。	
		政治は国民主権の考え方を基本として、国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることが分かる。	

段階	知識及び技能		判定
	段階の目標	調査項目	
高2段階	(ア) ⑦	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業と情報との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	1段階で学習した公共施設や公共物の役割や機能についてより深く理解することができる。
		地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること。	選挙、租税などについて、年金、保険、福祉に関する制度が生活と深く関係するものであることが分かる。
		国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。	税金が国や地方公共団体によって行われている施策(道路や住宅などの整備や教育や科学技術の振興など)に使われていることが分かる。
		国民年金や厚生年金、障害年金の仕組みや手続きなどについて分かる。	
(イ) ⑦	国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。	税金が国や地方公共団体によって行われている施策(道路や住宅などの整備や教育や科学技術の振興など)に使われていることが分かる。	
		国民年金や厚生年金、障害年金の仕組みや手続きなどについて分かる。	
		療育手帳や身体障害者手帳等を活用して援助を受けたり、福祉サービスを利用したりできることが分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等		判定
	段階の目標	調査項目	
(ア) ④	公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現すること。	市役所や町役場、学校、図書館、美術館、消防署、交番などについて位置や役割を調べてまとめている。	
		学校の備品などについて役割や使い方を調べてまとめている。	
		電車やバスなどの公共交通機関の役割や使い方、行き先などを調べてまとめている。	
		新聞やテレビ、インターネットなどの役割や使い方を調べてまとめている。	
(イ) ④	身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現すること。	療育手帳を使うことで受けることのできるサービスを調べたり、サービスを積極的に利用したりしている。	
		保険証を使うことで医療費を軽減できることを調べ、今後の生活に生かそうとしている。	

段階	思考力、判断力、表現力等		判定
	段階の目標	調査項目	
(ア) ④	公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現すること。	利用したい図書館や体育館、公民館などの利用方法をインターネットなどで調べている。	
		施設や交通機関の適切な利用方法について考えている。	
		インターネットなどの情報メディアを活用し、電車やバスなどの乗り換えの方法や天気などを調べている。	
		自分の生活と公共施設や情報メディアの利用を結びつけて考えている。	
(イ) ④	社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現すること。	租税の制度について調べ、その良さを考えている。	
		選挙の制度について調べ、その良さを考えている。	
		社会保障の制度について調べ、その良さを考えている。	

段階	思考力、判断力、表現力等		判定
	段階の目標	調査項目	
(ア) ④	生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を探し、適切な活用を考え、表現すること。	公共施設の役割や機能を自分の生活に結びつけて適切な利用の仕方を探している。	
(イ) ④	生活に関係の深い制度について理解すること。	選挙で選出された国会議員により法律や予算が決められていることなどから、選挙についての重要性を考えている。	

段階	思考力、判断力、表現力等		判定
	段階の目標	調査項目	
(ア) ④	地域における公共施設や公共物の利用の仕方を探し、適切な活用を考え、表現すること。	公共施設や公共物の地域社会における役割や必要性について考え、国民生活を支える重要な機能があることを図や言葉などで表現している。	
(イ) ④	生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現すること。	現在や将来の生活において生活に関係の深い制度を活用することで快適に生活できると考え、図や言葉などで表現している。	

活動例
公共施設や公共交通機関の使い方や使用方法を調べる学習 校外学習で各施設を利用する活動 療育手帳を利用するサービスを実際に体験する学習活動。

活動例
図書館や体育館、公民館を実際に利用する学習活動 利用方法をインターネットで調べる学習活動 給税の機会や税金の使い道について、消費税など身近な例をあげて調べる学習活動

活動例
公共施設の見学資料による公共施設の調べ学習 具体的な政策や法令、予算などを取り上げ、生活とのつながりについて考える学習活動

活動例
公共施設の見学資料による公共施設の調べ学習 具体的な政策や年金、予算などを取り上げ、生活とのつながりについて考える学習活動

ウ 地域の安全/我が国の国土の自然環境と国民生活

段階	知識及び技能			
	段階の目標	指導事項	調査項目	判定
中1 段階	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための種々の活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なさまざまな公共施設の利用及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かることとともに関係を身に付けるようにする。	(ア) ⑦ 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることが分かること。	火災について、消防署を中心に警察や市役所、学校、水・電気・ガスを供給している機関などが普段から設備の点検等に取り組んでいることが分かる。	
			火災を発生した地域の人々による消防署への通報、避難訓練の実施、消防団による見回り等火災予防に協力していることを基に地域の安全を守る働きについて分かる。	
			交通事故や犯罪に対して、警察署を中心に消防署、市役所、学校、PTA、その他の関係諸団体が協力して交通安全運動や防犯活動を展開していることが分かる。	
			保護者による地域の巡回、「子ども110番の家」の設置など、地域の人々が事故防止や防犯に協力していることなど、地域を守る働きについて分かる。	

段階	知識及び技能			
	段階の目標	指導事項	調査項目	判定
中2 段階	自分たちの都道府県の地理的環境の特徴、地域の人々の健康と生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための種々の活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのさまざまな活動や体験を通して、人々の生活との関わりを深めるとともに、調べまめめる技能を身に付けるようにする。	(ア) ⑦ 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対応してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。	住んでいる県の土地や気候の特徴などから起こりやすい災害が分かる。	
			住んでいる地域の土地や気候の特徴など、過去の災害を考慮し、県や市、警察署などの関係機関や地域の人々が協力して防災に取り組んでいることが分かる。	

段階	知識及び技能			
	段階の目標	指導事項	調査項目	判定
高1 段階	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのさまざまな活動や体験を通して、社会生活との関わりを深めるとともに、調べまめめる技能を身に付けるようにする。	(ア) ⑦ 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解すること。	自然災害が国土の地形や気候などの自然条件と関連して発生していることが分かる。	
			自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことが分かる。	
			我が国は国土の地形や気候から、地震災害、津波災害、風水災害、火山災害、雷害など様々な災害が起こりやすいことが分かる。	
			我が国では産業の発展、生活様式の変化、都市化の進展により公害が発生し、国民の健康や生活環境が脅かされたことが分かる。	
高2 段階	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのさまざまな活動や体験を通して、社会生活との関わりを深めるとともに、調べまめめる技能を身に付けるようにする。	(ア) ⑧ 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害が国土の環境や国民の生活に影響を及ぼすことを理解すること。	関係機関をはじめ多くの人々の努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことが分かる。	
			関係機関をはじめ多くの人々の努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことが分かる。	
			関係機関をはじめ多くの人々の努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことが分かる。	
			関係機関をはじめ多くの人々の努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことが分かる。	

段階	知識及び技能			
	段階の目標	指導事項	調査項目	判定
高2 段階	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのさまざまな活動や体験を通して、社会生活との関わりを深めるとともに、調べまめめる技能を身に付けるようにする。	(ア) ⑦ 自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。	国や県などは、砂防ダムや堤防、防潮堤の建設、津波避難場所の整備、ハザードマップの作成など、自然災害の対策を進めていることが分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等			
	段階の目標	指導事項	調査項目	判定
中1 段階	社会的現象について、自分の生活や地域社会と関連付けて考えることを表現する基礎的な力を養う。	(ア) ⑧ 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現すること。	自分の住んでいる市区町村の防災センターや備蓄倉庫、防災無線など、災害に対する施設・設備について調べている。	
			自分の住んでいる市区町村の救急車や消火栓など、事故や火災に対する施設や設備の設置状況について調べている。	
			自分の住んでいる市区町村の消防署や警察署などの機関が、緊急司令室等を中心にネットワークを活用して相互に連携していることについて見学するなど調べている。	
			火災、交通事故、犯罪などの緊急事態には状況により、消防署や警察署等が、迅速に対応し、近隣の消防署や警察署、市役所や病院などが協力していることを調べている。	

段階	思考力、判断力、表現力等			
	段階の目標	指導事項	調査項目	判定
中2 段階	社会的現象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う。	(ア) ⑧ 過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現すること。	過去にどのような災害が発生したのかの被害があったのかについて調べている。	
			今後想定される自然災害に対して、どこでどのような備えを行うとよいか考えている。	
			災害から地域の人々を守る活動について考え、絵や図などで表現している。	
			自然災害が発生した際には、県庁や市役所、警察署、消防署、自衛隊、気象庁などが連携をとり防災情報の発信や避難態勢の確保などを行っていることを調べている。	
			上記の機関による地域の安全を守るための活動や働きを、説明している。	

段階	思考力、判断力、表現力等			
	段階の目標	指導事項	調査項目	判定
高1 段階	社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(ア) ⑧ 災害の種類や発生位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況や自然条件との関連を考え、表現すること。	国土の自然災害の発生状況について、自然条件との関連を考え、図や表にまとめたり、分かったことを文で表現したりしている。	
			自然災害に対してどのような対策をとってきたかについて、資料をまとめたり、気付いたことをメモしたり、友達と意見を出し合ったりしている。	
			公害の発生時期や状況、どのように広がったかについてまとめたり、表現したりしている。	
			公害に対して人々がどのように協力したり、どのような対策をとってきたかについて、まとめたり表現したりしている。	
高2 段階	社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(ア) ⑧ 国土の環境保全について、自分たちができることなどを考え、表現すること。	破壊された環境を取り戻すためには長い時間と多くの人の努力や協力が必要であることを踏まえ、自分のできることを考えている。	
			破壊された環境を取り戻すためには長い時間と多くの人の努力や協力が必要であることを踏まえ、自分のできることを考えている。	
			破壊された環境を取り戻すためには長い時間と多くの人の努力や協力が必要であることを踏まえ、自分のできることを考えている。	
			破壊された環境を取り戻すためには長い時間と多くの人の努力や協力が必要であることを踏まえ、自分のできることを考えている。	

段階	思考力、判断力、表現力等			
	段階の目標	指導事項	調査項目	判定
高2 段階	社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(ア) ⑧ 国土の環境保全について、自分たちができることなどを考え、表現すること。	破壊された環境を取り戻すためには長い時間と多くの人の努力や協力が必要であることを踏まえ、自分のできることを考えている。	

活動例
地域の交番や、駐在所の仕事の内容を調べる学習活動 防災設備について見学などをとおして調べる活動 消防署の人から話を聞いて、ハザードマップを作成する学習活動 防災リュックや非常食の準備を行う活動

活動例
地域の実態や生徒の関心を考慮し、災害を一つに絞って調べる学習活動 災害情報の獲得方法や警察署への通報の仕方を学習する活動

活動例
災害の種類や発生位置や時期、防災対策などを地図帳や各種資料により調べまめめる活動 理科の学習内容との関連を図った学習活動

活動例
災害の種類や発生位置や時期、防災対策などを地図帳や各種資料により調べまめめる活動 自分たちのできることを考えていく活動

エ 産業と生活

段階	段階の目標		指導事項	知識及び技能		調査項目	判定	
	知識及び技能	調査項目						
中1段階	(ア)	⑦	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに調べまともる技能を身に付けるようにする。	身近な生産活動について生産物に着目し生活と関係することが分かる。	身近な販売活動について商品に着目し生活と関係することが分かる。			
								生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもっていることが分かること。
中2段階	(イ)	⑦	自分たちの製造現場の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに生活参加のためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活と環境を隔まえて理解するとともに、調べまともる技能を身に付けるようにする。	地域の人々が協力して、特色あるまっつきりや観光などの産業の発展に努めていることが分かる。	地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解すること。	地域の名産品や特産物、産業に関わる人々に着目して、特色ある地域の様子が分かる。		
				販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることが分かること。	販売の仕事に従事している人が消費者の願いを踏まえ、扱う商品を決めたり、商品の並べ方などを工夫したりしていることが分かる。			

段階	段階の目標		指導事項	知識及び技能		調査項目	判定	
	知識及び技能	調査項目						
中2段階	(イ)	⑦	自分たちの製造現場の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに生活参加のためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活と環境を隔まえて理解するとともに、調べまともる技能を身に付けるようにする。	飲料水、電気、ガスの供給事業について、水や電気などの供給の経路や製造の仕組みが分かる。	水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。	ごみや下水などの廃棄物処理などについて、処理の仕組みや処理方法などが分かる。		
				ごみや下水などの廃棄物処理などについて、処理の仕組みや処理方法などが分かる。				

段階	段階の目標		指導事項	知識及び技能		調査項目	判定	
	知識及び技能	調査項目						
高1段階	(ア)	⑦	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまともる技能を身に付けるようにする。	我が国では様々な食料を生産していることが分かる。	それぞれの土地の気候を生かして食料の生産地が広がっていることが分かる。	我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。	食料生産は国民の生活を支えていることが分かる。	食料生産量は国民生活と関連して変化していることが分かる。
				食料生産は国民の生活を支えていることが分かる。				
高2段階	(イ)	⑦	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまともる技能を身に付けるようにする。	農業や水産業の盛んな地域の人々が新鮮で良質な物を生産し出荷するために、生産性や品質を高めるなど様々な工夫をしていることが分かる。	食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。	輸送方法や販売方法を工夫することで収益が上がる事が分かる。		
				輸送方法や販売方法を工夫することで収益が上がる事が分かる。				

段階	段階の目標		指導事項	知識及び技能		調査項目	判定						
	知識及び技能	調査項目											
高2段階	(イ)	⑦	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまともる技能を身に付けるようにする。	自分たちの身の回りには様々な工業製品があることが分かる。	日本では様々な種類の工業生産が行われていることが分かる。	工業製品の改良と国民生活の向上は、深い関わりがあることが分かる。	工業製品は農業や水産業、工業などの中で使われているなど、工業生産の役割が分かる。	工場働く人々が優れた製品を生産するために、様々な工夫をしていることが分かる。	工業生産には様々な工場が関連していることが分かる。	工業製品は、優れた技術を生かして消費者の需要や社会の発展に応える研究開発を行っていることが分かる。	多様で大量の情報を情報通信技術で瞬時に収集・発信し、それらを活用することで産業が発展していることが分かる。	国民がコンピューターや携帯電話などの情報通信機器を利用することによりいつでもどこでも様々なサービスを受け取ることができ生活が向上していることが分かる。	個人情報情報は、適切な扱いが必要であることが分かる。
				工場働く人々が優れた製品を生産するために、様々な工夫をしていることが分かる。									

段階	段階の目標		指導事項	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定	
	思考力、判断力、表現力等	調査項目						
中1段階	(ア)	④	社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。	地域の生産の仕事の種類や仕事の進め方などを調べて、表している。	生産の仕事について工程に着目し、自然とのかかわりや、道具の工夫などについて考えをまとめている。	消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に現れる工夫を考え、表現すること。		
				消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に現れる工夫を考え、表現すること。				

段階	段階の目標		指導事項	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定		
	思考力、判断力、表現力等	調査項目							
中2段階	(ア)	④	社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う。	地域の特産品の歴史的背景や自然環境について調べたことや考えたことをまとめている。	複数の地域の名産品を比べて、歴史的背景や自然環境などの違いに気付いている。	飲料水、電気、ガスの安定供給のための人々の工夫を踏まえ、日常生活で気をつける点について考えて、絵や言葉で表している。	ごみ処理施設などで働く人々の仕事や環境に配慮した処理の仕方について、家庭や学校での分別と関連付けて考えている。		
				ごみ処理施設などで働く人々の仕事や環境に配慮した処理の仕方について、家庭や学校での分別と関連付けて考えている。					

段階	段階の目標		指導事項	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定		
	思考力、判断力、表現力等	調査項目							
高1段階	(ア)	⑤	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	食料生産と国民生活を関連付けて、どこでどのような物が生産されているかを調べたり、考えたりしたことを表現している。	食料生産と国民生活を関連付けて生産量はどのように変化しているかを調べたり、考えたりしたことを表現している。	食料はどのように生産されているかや人々はどう協力して生産しているかを調べたり、考えたりしたことを表現している。	食料生産に関わる人々の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて調べたり、考えたりしたことを表現している。		
				食料生産と国民生活を関連付けて、どこでどのような物が生産されているかを調べたり、考えたりしたことを表現している。					

段階	段階の目標		指導事項	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定	
	思考力、判断力、表現力等	調査項目						
高2段階	(イ)	④	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	工業製品と国民生活を関連付けて、日本はどんな工業が盛んなかを調べたり、考えたりしたことを表現している。	工業製品と国民生活を関連付けて、工業製品がどのように改良されてきたかについて調べたり、考えたりしたことを表現している。	工業製品と国民生活を関連付けて、工業製品はどのようにつくられているか、生産にかかわる人々の工夫や努力について調べたり、考えたりして分かったことを表現している。	情報を活用した産業と国民生活を関連付けて、その産業ではどのような情報を集めているかを調べたり、考えたりして分かったことを表現している。	情報を活用した産業の変化や発展と国民生活を関連付けて考え、その産業では情報をどのように活用しているかを調べたり、考えたりしたことを表現している。
				工業製品と国民生活を関連付けて、工業製品がどのように改良されてきたかについて調べたり、考えたりしたことを表現している。				

活動例
地域の特産品を具体的にあげ、その特徴や原材料や製造過程を観察したり、見学をしたりする学習活動 近隣の小売店やスーパーマーケットなどの見学をする活動

活動例
浄水場やごみ処理施設の見学をする活動 自分の生活における廃棄物処理事業の必要性と課題について話し合う活動

活動例
スーパーマーケットに並ぶ商品やファミリーストラン提供されている食事を取り上げ、店頭で並ぶまでの過程を調べたり、価格には何が含まれているかを考えたりする活動 見学先でのインタビューやインターネットで生産者や加工業者、販売者が発信している情報を活用して調べる活動

活動例
インターネットや様々なメディアなどを具体的に取り上げ、そこから得られる様々な情報を活用することで生活がどのように向上するかを考える活動

オ 我が国の地理や歴史/我が国の国土の様子と国民生活、歴史

段階	知識及び技能			判定
	段階の目標	指導事項	調査項目	
中1段階	(ア) ⑦	身近な地域や自分たちの市の様子が分かること。	学校の回りの道路の広さ、道路沿いの建物の特徴などが分かる。	
			県における市の位置、土地の高低や川沿いなどの地形の特徴などが分かる。	
			住宅・商店街・田畑・森林・港などの特徴が分かる。	
			駅前・大きな道路に面しているところ・市街地の広がりなどの特徴や様子が分かる。	
			学校・公園・図書館など公共施設の場所や古くから残る建造物の分布などが分かる。	
	(イ) ⑦	身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知る。	身近な駅や鉄道路線・バスなどの交通の分布が時期によって異なり、徐々に変化してきていることが分かる。	
			公共施設・畑の広がり・住宅や商店・工場の分布などが時期によって変化してきていることが分かる。	
			生活の道具が時期によって変化してきていることが分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等			判定
	段階の目標	指導事項	調査項目	
社会的現象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う。	(ア) ④	都道府県(以下第2章第2節第2款第1〔社会〕(2)内容において「県」という。)内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。	学校の回りの地域について、視覚的にまとめられた資料や調べたことを比較して特徴的な部分や他地域との違いを考えている。	
			自分の住んでいる市町村について、視覚的にまとめられた資料や調べたことを比較して特徴的な部分や他地域との違いを考えている。	
	(イ) ④	交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。	交通網や人口などを過去と現在で比較して変化の様子を考えている。	
			生活の道具について過去と現在で比較して、特徴や違いについて分かったことを絵や図文などで表現している。	

活動例
自分たちの住んでいる町はどうなっているか予想を立てたり、実際に観察や調査をして具体的に確かめたりする学習活動。 鉄道や道路がどのように変わってきたかを調べる学習活動

段階	知識及び技能			判定
	段階の目標	指導事項	調査項目	
中2段階	(ア) ⑦	自分たちの県の概要を理解すること。	日本の中の自分たちの県の位置が地図ままだから分かる。	
			県全体の地域や主な産業の分布が地図や資料などから分かる。	
			交通網や主要都市の位置が地図などから分かる。	
			県内の特色ある地域の人々の生活や産業が資料から分かる。	
			国や県の教育・医療・文化・産業の進展に大きな影響を与えた県内の偉人が資料から分かる。	
	(イ) ⑦	県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを理解すること。	県内の代表的な歴史的事象や出来事が資料から分かる。	
			県内の代表的な文化遺産が資料から分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等			判定
	段階の目標	指導事項	調査項目	
社会的現象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う。	(ア) ④	我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現すること。	自分たちの県の位置について、地理的な特色を考え表現している。	
			県内の主な産業はどこに分布しているかを調べ、県の産業分布の特色を考え表現している。	
			交通網や主要都市の位置からどのように交通網が広がっているかを考え、分かったことを図や文で表現している。	
	(イ) ④	歴史的な背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、その特色を考え、表現すること。	県内の偉人の成したことが自分たちの生活に深く関わっていることについて、考えたことを表現している。	
			県内の代表的な歴史的事象や出来事が自分たちの生活に深く関わっていることについて、考えたことを表現している。	
			県内の代表的な文化遺産ができた経緯やどのようにしてこれまで守られてきたのかについて、分かったことを表現している。	

活動例
文化遺産を生かした取組について調べたり、それにかかわる人にインタビューをしたりする活動。 県に関する視覚的に分かりやすい資料をもとに話し合う活動。

段階	知識及び技能			判定
	段階の目標	指導事項	調査項目	
高1段階	(ア) ⑦	我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、産業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の地形は全体としてみると山がちで平野が少ないことが地図から分かる。	
			日本の気候には四季の変化が見られることが資料から分かる。	
			国土の南と北、太平洋側と日本海側では、気候が異なることなどが資料から分かる。	
			日本には地形や気候などの自然条件から見て特色のある地域があることが資料から分かる。	
			日本人はそれぞれの自然条件の中で工夫して生活していることが資料から分かる。	
	(イ) ⑦	我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解すること。	日本の各時代を代表する歴史的な人物が分かる。	
			日本の各時代を代表する歴史的な出来事が分かる。	
			日本の代表的な文化遺産のいくつか分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等			判定
	段階の目標	指導事項	調査項目	
社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(ア) ④	地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。	日本の地形にはどのような特色があるかを調べ、考えたことを文などで表現している。	
			日本の気候にはどのような特色があるかを調べ、考えたことを文などで表現している。	
	(イ) ④	世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現すること。	地形や気候に特色がある地域の人々がどのように工夫をしているかを調べ、考えたことを文などで表現している。	
			日本の歴史的な人物の成したことがその時代に与えた影響について考え、絵や文などで表現している。	

活動例
自分の住んでいる都道府県について調べる学習から広げて、他地域について調べる学習活動 修学旅行などの機会に実際に観察や調査を行う活動 人物の肖像画や伝記などの資料をもとに調べる活動 地域の博物館などを訪ねる活動

段階	知識及び技能			判定
	段階の目標	指導事項	調査項目	
高2段階	(ア) ⑦	世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解すること。	世界の大陸と主な海流の位置や広がりなどが分かる。	
			世界の主要な国の位置と日本との位置関係が分かる。	
			日本の主な島の名称と位置が分かる。	
			日本には6,800以上の島があること、日本の北端、南端、東端、西端の島などを含めた日本の領土の範囲が分かる。	
			ある時代の歴史的事象と他の時代や現代とを比べてその違いが分かる。	
	(イ) ⑦	我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。	日本の人々の生活がどのように変化してきたかについて分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等			判定
	段階の目標	指導事項	調査項目	
社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(ア) ④	世界の大陸と主要な海洋、主要な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現すること。	日本が世界のどこに位置しているかについて調べ、分かったことを絵や図などで表している。	
			日本がどのような島々から成り立っているかについて調べ、考えたことを表や図、文などで表している。	
	(イ) ④	世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現すること。	日本の領土はどの範囲かを調べ、分かったことを地図や文などで表している。	
			日本の国土の特色をまとめ、考えたことを表している。	

活動例
自分の住む国の国土の特色調べる活動 世の中の様子や人物、代表的な文化遺産について調べる活動

カ 外国の様子

段階	知識及び技能		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
中 段 階	(ア) ②	文化や風習の特徴や違いを知ること。	世界の国のうちいづれかの1か国について、料理や食事の習慣が日本と違うことが分かる。	
			世界の国のうちいづれかの1か国について、住居が日本と違うことが分かる。	
			世界の国のうちいづれかの1か国について、学校生活や子どもの遊びが日本と違うことが分かる。	
			世界の国のうちいづれかの1か国について、あいさつの仕方やマナーが日本と違うことが分かる。	

段階	知識及び技能		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
中 段 階	(ア) ②	文化や風習の特徴や違いを理解すること。	いくつかの国について、生活や習慣の違いがあることが分かる。	
			世界には国によってそれぞれ多様な文化があることが分かる。	
			人々の生活の様子を大まかに理解すること。	いくつかの外国の人々の文化や習慣についておおまかに分かる。

段階	知識及び技能		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
高 1 段 階	(ア) ②	異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解すること。	世界の国の人々の生活の様子には、文化や習慣を背景とした違いがあることが分かる。	
			互いの国の異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さが分かる。	

段階	知識及び技能		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
高 2 段 階	(ア) ②	我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。	国際連合は平和な国際社会の実現のために大きな役割を果たしていることが分かる。	
			日本は国際連合の一員としてユネスフやユネスコの活動に協力していることが分かる。	
			日本が教育や医学、農業などの分野で諸外国の発展に貢献していることが分かる。	
			日本には国際社会の平和と発展のために果たさなければいけない責任と義務があることが分かる。	

段階	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
中 段 階	(ア) ④	そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現すること。	世界の国のうちいづれかの1か国と日本の料理や食事の習慣について、何が違うのかを調べ、考えたことを絵や図、言葉などで表現している。	
			世界の国のうちいづれかの1か国と日本の住居について、何が違うのかを調べ、考えたことを絵や図、言葉などで表現している。	
			世界の国のうちいづれかの1か国と日本の学校生活や子どもの遊びについて、何が違うのかを調べ、考えたことを絵や図、言葉などで表現している。	
			世界の国のうちいづれかの1か国と日本のあいさつの仕方やマナーについて、何が違うのかを調べ、考えたことを絵や図、言葉などで表現している。	

段階	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
中 段 階	(ア) ④	人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現すること。	日本と外国の生活や習慣が自然条件や気候の影響によるものであることを考え、絵や図、言葉などで表現している。	
			日本と外国の生活や習慣が歴史的背景によるものであることを考え、絵や図、言葉などで表現している。	
			ノーベル賞などの文化的な出来事について調べ、考えたことを絵や図、言葉などで表現している。	
			世界の出来事などに着目して、それらの国の人々の生活の様子を捉え、交流することの大切さを考え、表現すること。	オリンピック・パラリンピックなどの国際的なスポーツ大会について調べ、考えたことを絵や図、言葉などで表現している。

段階	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
高 1 段 階	(ア) ④	外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現すること。	生活や文化が日本と比べてどのように違うかを調べ、考えたことを絵や言葉などで表現している。	
			互いの国の文化や習慣を尊重し合うためにはどうすればよいかを考えて、話したり書いたりして表現している。	

段階	思考力、判断力、表現力等		調査項目	判定
	段階の目標	指導事項		
高 2 段 階	(ア) ④	地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。	地球規模で発生している災害などの課題の解決と日本の国際協力の様子を関連付けて考え、絵や図、言葉などで表現している。	
			日本が国際社会において果たしている役割について調べ、考えたことを話したり、書いたりして表現している。	

活動例
給食に使われている食材や献立や年中行事の際の過ごし方を比べる学習活動。 色や形など視覚的に特徴が分かりやすい物や味覚や触覚など生徒自身が実際に体感できる物を使った学習 オリンピック・パラリンピック等の国際大会を調べる学習活動

活動例
砂漠の多い地域と日本を比べるなど特色が分かりやすい地域を調べ比べる活動

活動例
衣服を題材にして他の国と相違点を見つけたり、なぜ違うのかを考えたりする学習活動

活動例
国際連合やユネスフ、ユネスコの活動について調べる活動 日本の外国へ与える影響を調べる活動